（案）

【資料6】

令和７年度 春日部市市民活動センター「ぽぽら春日部」第三者評価結果

センターの基本的な役割[春日部市市民活動センター運営方針 P9～]
●市民活動推進のための総合的・中核的拠点
●「新しい公共」の担い手を育成する拠点
●さまざまな担い手が協働する場をつくる拠点

市民活動センター「６つの機能」	「6 つの機能」を実践するための 「４つのサービス」 (1) ひろめる　(2) ささえる (3) つなげる　(4) はたらく	市からの意見等
①　市民活動の窓口、相談、支援機能	(1)市民活動の啓発、推進に関する活動 (2)団体立ち上げ支援 (2)団体運営支援	アドバイザーによる丁寧な相談対応が新規団体登録につながっている点を評価する。今後は、職員全体の相談対応力向上を図ることで、新たな担い手の確保や市民活動のさらなる活性化につながることを期待する。
②　情報収集、提供、発信機能	(1)市民活動の啓発、推進に関する活動 (2)広報活動支援	SNS 等を活用した継続的な情報発信により、市民活動に関する情報が広く周知されていることが伺える。引き続き、団体運営を支援しながら、新たな市民活動の担い手を確保できるよう努めてほしい。
③　交流、ネットワーク機能	(3)自発的な出会いと交流の推進	既存の利用者会議に工夫を凝らしワークショップ形式としたことで新たな参加者の囲い込みや交流が促進されたことが伺える。来年度にむけて、市民活動団体の最大の発表の場である「ぽぽらフェスティバル」が盛況に開催されることを期待する。
④　活動拠点及び事務所機能	(2)事務所機能の提供 (4)公正かつ透明な施設の運営	継続的に課題である交流ミーティングスペースの運用ルールの改善により、より多くの市民が公平かつ利用しやすい環境整備が進められた点や、共同事務室の試験運用や貸事務所への登録団体の入居実現など、施設の利便性向上と認知度向上の取組の成果として評価できる。引き続きニーズを把握し、利用者増加に向けた取り組みを行ってほしい。
⑤　市民活動に関する学習、研修機能	(1)市民活動の啓発、推進に関する活動 (2)活動実践の場の提供	ぽぽらフェスティバルや月間イベント等の取組強化により、過去最高の事業数実施につながった点や、市内外の自治会や県を代表する市民活動支援団体と連携しながら学びと啓発の機会を創出したことは、市民活動の理解促進と地域協働の推進に寄与している。
⑥　マッチングと協働支援の機能	(3)コーディネート、協働の支援 (4)市民活動の基盤整備	既存の地域ネットワークを活用し、協働を促進するプロジェクトをコーディネートした点や、「フィールドリサーチ」による市民活動の知見の蓄積・可視化に取り組んだ点を評価する。今後も多様な主体との連携促進を期待する。

総合評価（まとめ）

令和 7 年度は、多様な事業やイベントの実施を通じて、より多くの活動団体や市民が市民活動に参画する機会の創出が図られていると評価できる。SNS 等を活用した情報発信も継続的に行われており、市民活動センターの認知度向上に一定の成果が見られる。
一方で、交流・ミーティングスペースにおいて学生の学習利用が多い現状も踏まえ、将来的な市民活動の担い手となり得る若年層の参画促進に向けた取組の工夫が求められる。あわせて、団体の高齢化や担い手不足といった課題への対応として、具体的な支援策や取組の「見える化」を一層進め、持続的な市民活動の推進につなげることを期待する。